

NEWS RELEASE

2025 年 8 月 25 日(月)

DEAN FUJIOKA、初のフルオーケストラ公演決定 コンサートメインビジュアルを公開



ビルボードジャパン（株式会社阪神コンテンツリンク）は、DEAN FUJIOKA 初のオーケストラコンサート【billboard classics DEAN FUJIOKA Premium Symphonic Concert -旅人-】の開催を発表し、コンサートメインビジュアルを公開した。

俳優、モデル、映画プロデューサー、そして、昨年開催されたビルボードライブツアーでは全 12 ステージが即完売になるなど、アーティストとしても才能を発揮している DEAN FUJIOKA がビルボードクラシック스에初登場。12 月 9 日（火）東京芸術劇場コンサートホール、12 月 19 日（金）京都コンサートホール大ホールにて“音楽で旅する時間と感情の物語”をテーマに、フルオーケストラとの共演が実現する。

指揮には、クラシック音楽のみならず様々なコラボレーションコンサートでも活躍する栗田博文を迎え、東京フィルハーモニー交響楽団（東京公演）および京都フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ（京都公演）と共演。壮大なシンフォニックサウンドで DEAN の音楽を彩る。

DEAN がこれまで歩んできた人生や感情の軌跡をフルオーケストラと共にたどる、音楽による“時間旅行”をお楽しみいただきたい。

◎公演情報

billboard classics DEAN FUJIOKA Premium Symphonic Concert -旅人-

<開催日時・会場>

- ① 【東京】2025年12月9日（火） 東京芸術劇場 コンサートホール 開場 18:30 開演 19:30
② 【京都】2025年12月19日（金） 京都コンサートホール 大ホール 開場 18:30 開演 19:30

<出演>

DEAN FUJIOKA

指揮：栗田博文

管弦楽：①【東京】東京フィルハーモニー交響楽団 ②【京都】京都フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ

編曲監修：山下康介

<チケット>

SS席 22,000円[特典グッズ付き]、S席 13,000円（全席指定・税込）

チケット販売スケジュール：

DEAN FUJIOKA 公式 FC「FamBam」有料会員最速先行（抽選）2025年8月25日（月）15:00～8月31日（日）23:59

ビルボードライブ「Club BBL」会員先行（抽選）2025年9月3日（水）15:00～9月7日（日）23:59

DEAN FUJIOKA 公式 FC「FamBam」無料会員最速先行（抽選）2025年9月3日（水）15:00～9月7日（日）23:59

イープラス独占先行（抽選）2025年9月10日（水）15:00～9月16日（火）23:59

一般発売 2025年11月1日（土）10:00～

<公演公式サイト>

<https://billboard-cc.com/deanfujioka2025>

主催・企画制作：ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク） 後援：米国ビルボード

<注意事項>

※未就学児入場不可

※枚数制限：おひとり様各公演1申し込み最大4枚まで

※車椅子をご利用のお客様は、お問合せ先までご連絡ください。

※チケットはおひとり様1枚必要となります。チケットを紛失された方、または当日お忘れになった方はご入場できません

※チケット購入の際は、必ず公式サイトに掲載している注意事項をご確認の上、チケットをお求めください（ご来場のお客様へのお願い：<https://billboard-cc.com/notice/>）

<公演に関するお問合せ>

【東京】ホットスタッフ・プロモーション 050-5211-6077（平日 12:00～18:00／土日祝休）

【京都】キョードーインフォメーション 0570-200-888（平日 12:00～17:00／土日祝休）

ビルボードクラシックス



音楽ファンに最高の音楽と新しい体験を届けるため、ビルボードジャパンが2012年にスタートしたコンサートシリーズ。「アーティストの音楽を最高のカタチで届けること」をミッションに、全国の音楽専用ホール等でこれまでに400以上の公演を開催している。

【本リリースに関するお問合せ】

株式会社阪神コンテンツリンク ビルボード事業本部 クラシック事業部

メールアドレス：bbc@hcl-c.com TEL：(03) 5544-9802 FAX：(03) 5544-9806

ビルボードクラシックス公式 Web サイト：<https://billboard-cc.com/>

【添付資料】出演者プロフィール

DEAN FUJIOKA



1980 年 8 月 19 日生まれ、福島県生まれ。俳優、アーティスト、プロデューサーとして、日本をはじめアジア全域で活躍するマルチクリエイター。繊細さと力強さを併せ持つ表現力で、日本アカデミー賞をはじめ数々の栄誉を受賞。

音楽では、作詞・作曲から編曲、プロデュースまでを自ら手がけ、国境やジャンルを越えたサウンドで聴く者を魅了してきた。2025 年からは新体制での音楽活動を始動し、自身の原点と新たな挑戦を融合させた作品制作に取り組む。

日本のみならず中華圏・韓国など世界各地に熱心なファンを抱え、Instagram フォロワーは 180 万人を超える。映像・音楽・ファッションを横断する独自の美学とストーリーテリングは、現代の“旅する詩人”として進化を続けている。

オフィシャル X：<https://x.com/TeamDF819/>

オフィシャル YouTube チャンネル：https://www.youtube.com/@Dean_Fujioka

オフィシャル Instagram：<https://www.instagram.com/tfjok/>

栗田博文（指揮）



1988 年、第 23 回東京国際音楽コンクール指揮部門において第 1 位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989 年に渡欧。同年、第 1 回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール（イタリア）に入賞し国際的な評価を確立。1995 年、第 1 回シベリウス国際指揮者コンクール（フィンランド）の最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。

東京フィルハーモニー交響楽団



1911 年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約 160 名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。国民的番組「NHK 紅白歌合戦」「クラシック TV」のほか 2020～21 年には「情熱大陸」「BS1 スペシャル」などのドキュメンタリー番組にも登場。

1989 年より Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

公式 Web サイト：<https://www.tpo.or.jp/>

京都フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ



近年、サラ・ブライトマンや玉置浩二をはじめとする先鋭的音楽活動が注目されている京都フィルハーモニー室内合奏団を中核に特別編成。

京都フィルハーモニー室内合奏団は 1972 年に結成。一人一人がソリストの個性派揃いのプロの合奏団。定期公演、特別公演、室内楽コンサート、子供のためのクラシック入門コンサート等を主催すると同時に、各地ホール・教育委員会・鑑賞団体・テレビ・ラジオ・芸術祭等に多数出演している。

「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーを持った京フィルは、クラシック音楽の他に様々なジャンルの

音楽もセンスある編曲を施して演奏し、多くの聴衆を魅了している。

国内外の演奏家や指揮者と共演する一方、狂言、文楽人形、津軽三味線、尺八等の日本の伝統芸能とのコラボレーションや、俳優、タレント、落語家、漫才師等の異分野との共演も積極的におこない、“挑戦する室内オーケストラ”と大好評を博している。

山下康介（編曲監修）



東京音楽大学作曲専攻「映画・放送音楽コース」（現ミュージック・メディアコース）卒業。

映画「花筐／HANAGATAMI」「この空の花」などで知られる大林宣彦監督作品に多く携わったほか、NHK 連続テレビ小説「瞳」やドラマ「花より男子」、アニメ「ちはやふる」「ドラゴンボール DAIMA」、「仮面ライダーセイバー」、スーパー戦隊シリーズ「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」、歴史シミュレーションゲーム「信長の野望」シリーズなどの音楽がある。また編曲家として「題名のない音楽会」などの放送用編曲をはじめ、billboard classics などオーケストのためのコンサート用編曲を多数手がけている。現在、洗足学園音楽大学教授、東京音楽大学特任教授。一般社団法人日本作編曲家協会（JCAA）理事。静岡いわた PR 大使。©Tatsuya Ito